

令和4年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22025	事業名	団体営ため池等整備事業			
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他( )					
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		予算科目	会計	01:一般会計
		基本施策	06:防災・減災対策の強化			款	06:農林水産業費
		施策の方向	04:災害に強いまちづくりの推進			項	01:農林水産業費
		重点プロジェクト	03:「しなやか田園都市」プロジェクト			目	05:農地費
事業期間	R 1 年度 ~ R 5 年度	主な根拠法令等	農村地域防災減災事業、農業水路等長寿命化・防災減災事業				

評価分類	A1
------	----

担当部署	
部	産業環境部
課	農林振興課 農林施設G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	地震等により破堤した場合に、住民の生命や財産、公共施設等に甚大な被害が発生する恐れがある防災重点農業用ため池が市内に52池存在している。これまでハザードマップの作成・配布等の避難対策を実施してきたが、今後は安全性向上に向けた具体的な取組が求められる。	防災重点農業用ため池	防災重点農業用ため池の安全性を高めることで、災害時におけるため池を起因とした被害の軽減を図る。	防災重点農業用ため池の耐震点検・劣化状況評価・豪雨耐性評価を行う。また、ため池の防災減災対策として浚渫工事を行う。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○ため池調査 ○ため池浚渫(設計)	○ため池調査 ○ため池浚渫(工事)		
	活動実績 (計画通り実施できたか)	12箇所の地震耐性調査と15箇所の豪雨、劣化点検を実績した。 また、ため池浚渫工事に向けた測量設計業務を実施した。			
計画額	事業費	29,800千円	53,848千円	21,000千円	21,000千円
	国・県支出金	28,800千円	52,840千円	15,000千円	15,000千円
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,000千円	1,008千円	6,000千円	6,000千円
決算額	事業費		53,848千円		
	国・県支出金		52,840千円		
	地方債				
	その他				
	一般財源		1,008千円		
①期間内事業費(R4-7)		50,800千円	②期間外事業費(R8-)	0千円	①+②総事業費 50,800千円

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	30,000千円
当年度の最終予算額	25,848千円
次年度への繰越額	2,000千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	耐震点検実施数	活動	箇所	計画値	4			
				実績値	12			
	劣化状況評価・豪雨耐性評価実施数	活動	箇所	計画値	17	10		
				実績値	15			
	ため池調査完了率	成果	%	計画値	64	100		
				実績値	57			

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
A	ため池調査の結果、耐震性の評価や各施設の状態、また、洪水吐の評価により各ため池の現状が把握でき、市民等に対し情報提供を図ることが可能となった。
	また、ため池浚渫の測量設計業務の結果、堆積土砂範囲を把握できたため、令和5年度に実施する浚渫工事に反映することが可能となった。
十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
防災重点農業用ため池	防災重点農業用ため池の安全性を高めることで、災害時におけるため池を起因とした被害の軽減を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	ため池調査においては、概ね計画どおりに進められている。今後はこれまでの調査結果と令和5年度に実施する調査結果をもとに、令和6年度以降に防災工事等推進計画を策定する必要がある。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性
	継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容
	令和5年度で対応する(した)もの ため池調査の豪雨劣化調査は計画値10箇所に対し、令和4年度で計画していた2箇所を追加実施する。また、ため池浚渫は工事発注を行う。さらに調査実施済のため池管理者等を対象に日常の管理方法等の説明会を行う。
	令和6年度以降で対応するもの 廃止希望のため池も含め、防災工事等推進計画を策定すると同時に防災工事以外にため池管理を行う上で、低水管理等の対策を行う方法を検討する。

【履歴】	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A			
事業展開	継続(現状維持)			

1次評価者	産業環境部 農林振興課 農林施設GL 谷 徹
最終評価者	産業環境部 農林振興課長 水越 洋光